

平成30年度大岡小学校 1年2組 クラスの学びを発信します！

すなばであそぼう

夏が近づいてきた頃、幼稚園や保育園で何をやったか聞いたところ、「砂遊びをしたよ。」「泥団子を作ったよ。またやりたいな。」という話が出ました。「暑いから外遊びは好きじゃないな。」「汚れるのが嫌だな。」という子どももいましたが、実際に砂で遊んだところ、「やってみたら楽しかった。また遊びたい。」「砂となかよくなれた。」「もっと固いお団子を作りたい。」など、もっと砂場で遊びたいという思いが高まりました。

はじめは、一人ひとりがばらばらに遊んでいましたが、「もっと高い山を作りたい。」「たくさん水を流して長い川にしたい。」「コーヒー屋さんを作ってみんなに遊びに来てほしい。」など、周りの友達と協力したり、声をかけ合ったりする場面がだんだんと増えてきました。



また、晴天や小雨、猛暑など、様々な気候の下で砂遊びを繰り返す中で、「今日は砂がやわらかいな。」「水がすぐになくなったよ。」など、子どもたちは砂の面白さや不思議さを実感していました。

砂場を今後どうしたいかを話し合ったところ、「すなのくにわくわくなかよしらんど」を作ることが決まり、子どもたちはより一層夢中になって取り組みました。「ここにホテルを作ってもいいかな。」「穴をつなげて洞窟にしようよ。」など、自分の思いを友達に伝える場面が増え、一人一人の遊びがつながっていき、「砂となかよし、友達ともなかよし」というみんなのめあてが達成できました。